

## この秋は、博物館で世界一に会おう！

「パレオパラドキシア～大野原標本発掘から 40 年～」に向けて

北川 博道



埼玉のパレオパラドキシアが一堂に！

当館のメイン展示の一つであるパレオパラドキシア。常設展示には般若標本の実物化石と 3 体の復元骨格、般若・大野原 2 体分の産状模型が展示されています。これだけでも常設展に 6 体のパレオパラドキシアが展示されているわけです。このうちの大野原標本の第 1 次発掘が行われて今年で 40 年を迎えます。今回の展示はこれを記念し、企画展示室に秩父地域産出の実物化石 7 標本が展示されます。常設展示にある般若標本と合わせると、秩父地域産出 8 標本が一堂に展示されるのです。また、東松山市葛袋から産出した標本も展示、常設展と合わせて、埼玉県産



パレオパラドキシア大野原標本

10 標本の実物化石を展示します。また、復元模型 4 体、産状模型 2 体分が加わると、総勢 16 標本のパレオパラドキシアが展示されます。

日本からは 50 標本の産出が知られているパレオパラドキシア。この 5 分の 1 の数が展示されるわけです。おそらく、実物化石がこれほど多く展示されることは世界的にもなかったことでしょう。しかも 2 体分の全身骨格標本を含んでいます。

### 埼玉のパレオパラドキシアは世界一！？

今回の展示、多くのパレオパラドキシア化石が展示されますが、多くの博物館から苦勞して借りてきたわけではありません。ほとんどが、当館が所蔵している標本なのです。日本からは 37 カ所よりパレオパラドキシア化石の産出が報告されていますが、このうち 8 カ所が埼玉県に位置しています。秩父盆地からは 7 カ所、東松山市から 1 カ所の報告です。東松山市は、葛袋地区 1 カ所からの報告ですが、ここからは現在までに 13 標本の産

出が報告されています。この数は、一カ所から産出した標本数としては、日本のみならず世界で最も多いのです。秩父地域産出標本と合わせて、埼玉県は世界で一番パレオパラドキシア化石の発見されている場所なのです。しかしながら、葛袋から産出されている化石はすべて単離した歯の化石です。そのため、全身骨格のようなものはもちろん、骨の化石などもみつかっていません。その点、秩父地域は、全身骨格2体を含む、多くの骨が見つかっています。同じ県に位置し、地理的にも大きくは離れていない2つの地域で化石の見つかり方に大きな違いがあるのです。そして、これらの標本の中で、秩父地域産出6標本、葛袋産出1標本が当館の所蔵となっています。当館は世界で一番パレオパラドキシア化石を収蔵している博物館といえるでしょう。

**古秩父湾の生き物大集合！**

本展示で展示されるのはパレオパラドキシアだけではありません。チチブクジラやイルカといった、多くのクジラの仲間、そして、アザラシの仲間なども展示します。これらの生物はかつて1700万年ほど前に誕生し、約1500万年前に消滅した秩父の海、“古秩父湾”に生きていた生物たちです。秩父地域から産出する化石は、その量、質ともに大変素晴らしいものです。秩父盆地という窪地がまさにタイムカプセルのように当時の生物たちを化石としてそのまま今に伝えているのです。そしてその海の情報は、いまだに残る多くの露頭で見ることができます。「ようばけ」はその代表的な存在ですが、ほかにも、秩父が海だったころの露頭は多く秩父地域に残されています。本展示では各地に残る



秩父を代表する露頭「ようばけ」

代表的な露頭も紹介しています。ぜひ、本展示で多くの化石をご覧ください、その化石生物が生きていた海の証拠である秩父地域各所の露頭に、実際に訪れていただければと思います。

**見どころ満載！企画展「パレオパラドキシア」**

最後に本企画展の見どころをまとめておきましょう。

- 1. 秩父地域産出パレオパラドキシア化石全実物化石標本集合！
- 2. 県指定天然記念物3件「パレオパラドキシア大野原標本」「パレオパラドキシア般若標本」「チチブクジラ」同時公開！
- 3. 自然の博物館監修、パレオパラドキシア新復元模型初公開！

新たなパレオパラドキシア復元模型も登場し、多くの化石を展示する、見どころ満載の企画展にぜひ足をお運びください。



(きたがわ ひろみち：学芸員)

秩父の海の生き物たち

